おいしさを笑顔に
KIRIN

平成25年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年４月26日

上 場 会 社 名　　キリンホールディングス株式会社　　上場取引所　東・大・名・札・福
コ ー ド 番 号　　2503　　URL　http://www.kirinholdings.co.jp/
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）三宅　占二
問合せ先責任者（役職名）グループコーポレートコミュニケーション担当ディレクター　　（氏名）藤原　哲也（TEL）03-5540-3455

四半期報告書提出予定日　　平成25年５月14日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第１四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第１四半期	520,663	4.7	24,154	△4.6	23,488	22.3	54,309	―
24年12月期第１四半期	497,286	1.7	25,313	△23.3	19,210	△34.6	△3,033	―

（注）包括利益　25年12月期第１四半期　145,431百万円（95.7%）　　24年12月期第１四半期　74,312百万円（275.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第１四半期	56.51	56.45
24年12月期第１四半期	△3.15	―

（参考）平準化EBITDA　25年12月期第１四半期　583億円（△6.6%）　24年12月期第１四半期　624億円
平準化EPS　25年12月期第１四半期　20円　(53.8%)　24年12月期第１四半期　13円
両指標の定義、計算方法等の詳細は、「連結経営成績に関する定性的情報」２ページをご覧ください。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第１四半期	2,908,555	1,278,149	36.8
24年12月期	2,951,061	1,153,901	32.2

（参考）自己資本　25年12月期第１四半期　1,069,030百万円　　24年12月期　948,943百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	13.50	―	15.50	29.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		18.00	―	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	1,090,000	4.6	58,000	1.4	―	―	―	―	―
通期	2,290,000	4.7	155,000	1.3	132,000	△4.7	90,000	60.1	93.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

（参考）平準化EBITDA　25年12月期通期（予想）　3,160億円（2.8%）
平準化EPS　25年12月期通期（予想）　121円　(3.4%)

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料P5「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項　（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）当第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P5「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期１Ｑ	965,000,000株	24年12月期	965,000,000株
②　期末自己株式数	25年12月期１Ｑ	4,586,235株	24年12月期	3,502,064株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期１Ｑ	961,121,262株	24年12月期１Ｑ	961,716,926株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

(2)決算補足説明資料は本日4月26日（金）に、また、4月30日（火）開催の決算説明会（電話会議）における資料・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。

（当社ホームページURL）

http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 9
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（４）セグメント情報等 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期　（平成25年１月１日～平成25年３月31日）　における世界経済は、中国をはじめとしたBRICS諸国の成長鈍化というリスク要因はあるものの、欧州債務問題が最悪期を脱し、米国経済も復調傾向にあるなど、昨年来の減速した状態から徐々に持ち直しに向っています。

わが国経済は、円安の進行や海外経済の持ち直しで輸出環境が改善し、また経済対策も下支え要因となって景気は下げ止まり、個人消費も底堅く推移しています。

このような状況の中、キリングループは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2021」（略称：ＫＶ2021）実現に向けた最初のステージである「キリングループ2013－2015年中期経営計画」の初年度として、オーガニック成長に経営の方向性をシフトし、「ブランドを基軸とした経営」を持続可能な競争優位の源として確立・展開するための取り組みを実施しました。

当第１四半期の連結売上高は、主に海外綜合飲料事業の販売好調により増加しましたが、営業利益については、日本綜合飲料事業における酒類の販売数量減少とブランド投資の先行等によって減少しました。経常利益については、持分法による投資利益の増加等により増加し、四半期純利益については、フレイザー・アンド・ニーヴ社の株式譲渡によって投資有価証券売却益を計上したことにより大幅に増加しました。

連結売上高	5,206億円（前年同期比	4.7%増　）
連結営業利益	241億円（前年同期比	4.6%減　）
連結経常利益	234億円（前年同期比	22.3%増　）
連結第１四半期純利益	543億円（前年同期比	―　）
（参考）		
平準化EBITDA　※	583億円（前年同期比	6.6%減　）
平準化EPS　※	20円（前年同期比	53.8%増　）

※　平準化：特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整
平準化EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費 ＋ のれん償却額 ＋ 持分法適用関連会社からの受取配当金
平準化EPS　＝ 平準化四半期純利益 ／ 期中平均株式数
平準化四半期純利益 ＝ 四半期純利益 ＋ のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益
なお、平準化EBITDAは億円未満切捨てで表示しており、平準化EPSは円未満四捨五入により算出しております。

なお、株主還元の更なる充実を図るため、取得株式総数の上限を50百万株、取得総額の上限を500億円、取得期間を本年12月30日までとする自己株式の取得を３月に開始しました。また、キリン協和フーズ㈱の全株式を三菱商事株式会社に譲渡する株式譲渡契約を３月に締結しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

〈日本綜合飲料事業〉

本年１月１日付でキリン㈱を設立し、新体制の下で長期的な視点に立ったブランドの育成に取り組みました。

キリンビール㈱では、ビアカクテル「一番搾り　ツートン＜生＞」の全国展開を開始するなどビールの新しい楽しみ方を提案し、「キリン　一番搾り」ブランドの販売が好調に推移しました。伸張する新ジャンルカテゴリーを中心に競争環境が更に厳しくなる中で、ビール・発泡酒・新ジャンル合計の販売数量は前年を下回りましたが、成長市場であるＲＴＤカテゴリーでは定番リニューアルに加えて新商品投

入等の効果により、前年を上回る販売数量となりました。ノンアルコール飲料「キリン フリー」においては、味覚面を中心にリニューアルを実施しました。

メルシャン㈱では、主に家庭用市場での競争環境の激化により販売数量は前年を若干下回りましたが、「スプリング・ロゼ・フェスタ」等のイベントを行うなど、日常的にワインを楽しめる機会の創出を目的とした施策を積極的に実施しました。

キリンビバレッジ㈱では、「キリン 午後の紅茶 おいしい無糖」をリニューアルし、日常生活における紅茶の飲用シーンについての新提案を行うことで「キリン 午後の紅茶」ブランドが市場を更に活性化させたほか、昨年新たな市場を確立した特定保健用食品史上初のコーラ系飲料「キリン メッツ コーラ」等が牽引し、販売数量は前年を上回りました。

各社ともブランド力強化に向けた積極的な販売促進を行うと同時に、製造面において効率性向上やコストの継続的な削減に努めました。

これらの結果、キリンビバレッジ㈱における販売数量の増加はありましたが、主にキリンビール㈱における販売数量の減少と各社ブランド強化に向けた先行投資により、売上高、営業利益とも減少しました。

※　ＲＴＤ：栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料でReady to Drinkの略です。

日本綜合飲料事業連結売上高	2,346億円（前年同期比	1.2%減　）
日本綜合飲料事業連結営業損失	△11億円（前年同期比	―　）

〈海外綜合飲料事業〉

豪州経済は堅調な成長を維持しているものの減速基調が続いており、食品・小売を中心にした国内消費財産業はやや厳しい事業環境が続きました。

ライオン社の酒類事業では、高価格帯への商品構成シフトや成長カテゴリーでの販売強化を進めました。主力ブランドの堅調な販売に加えて、昨年販売権を取得した「コロナ」等の輸入プレミアムブランドの貢献により、販売数量は前年を大きく上回りました。一方、飲料事業では、消費者の低価格志向をはじめとして厳しい市場環境が続いており、販売数量は前年を下回りましたが、引き続き商品の差異化を進め高付加価値商品のブランド強化を図りました。

ブラジル経済は成長のペースが引き続き緩やかとなり、個人消費も若干の影響を受けました。

そのような中、ブラジルキリン社ではビールの「ノヴァ・スキン」や炭酸飲料の「スキン」を中心とした基盤ブランド強化や顧客接点の拡大等、市場における存在感を高めるための施策を進め、ビール、飲料事業とも販売数量は前年を上回りました。また、調達プロセスの改善をはじめとしたバリューチェーン全体での効率化と機能強化を引き続き進めるとともに、家庭用需要拡大に対応すべく設備増強を図りました。

これらの結果、オセアニア綜合飲料事業においては、売上高、営業利益とも増加しました。また、海外その他綜合飲料事業においては、売上高は増加し営業損失も減少しました。

オセアニア綜合飲料事業連結売上高	1,276億円（前年同期比	19.3%増　）
オセアニア綜合飲料事業連結営業利益	113億円（前年同期比	22.9%増　）
海外その他綜合飲料事業連結売上高	521億円（前年同期比	14.5%増　）
海外その他綜合飲料事業連結営業損失	△7億円（前年同期比	―　）

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱の国内医薬品において、花粉飛散量の増加により主力製品である抗アレルギー剤「アレロック」、抗アレルギー点眼剤「パタノール」が好調な販売を記録しました。また、医薬品の輸出は堅調に推移したものの、協和キリン富士フイルムバイオロジクス㈱からの技術収入等が前年と比べて減少しました。一方、プロストラカン社を中心とした海外販社の販売が概ね好調であったことから、売上高は前年を上回りました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料の販売は堅調に推移しましたが、ヘルスケア領域の飲料・食品用原料において売上高が減少したこと等が影響し、バイオケミカル事業の売上高は前年を下回りました。

これらの結果、国内・海外とも販売は好調を維持しましたが、技術収入の減少等の影響により、売上高、営業利益とも減少しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	847億円（前年同期比	0.2%減　）
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	151億円（前年同期比	19.1%減　）

〈その他事業〉

キリン協和フーズ㈱において、国内市場の冷え込みにより主力の加工用事業が大きく低迷したことや、成長ジャンルと位置付けている中食・外食用事業およびパン資材事業の売上が伸び悩んだこと等により、その他事業全体としての売上高は減少しましたが、費用の減少等により営業利益は増加しました。

その他事業連結売上高	215億円（前年同期比	3.6%減　）
その他事業連結営業利益	8億円（前年同期比	946.0%増　）

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産、無形固定資産等が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券等の減少により、前連結会計年度末に比べ425億円減少して２兆9,085億円となりました。

負債は、有利子負債、未払法人税等、未払酒税の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,667億円減少して１兆6,304億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,242億円増加して１兆2,781億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成25年２月14日発表の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,916	72,722
受取手形及び売掛金	413,138	389,339
商品及び製品	122,159	134,092
仕掛品	32,684	35,694
原材料及び貯蔵品	51,658	55,317
その他	90,078	88,437
貸倒引当金	△4,138	△4,922
流動資産合計	789,496	770,681
固定資産		
有形固定資産	763,437	794,182
無形固定資産		
のれん	642,190	685,290
その他	179,758	199,183
無形固定資産合計	821,948	884,473
投資その他の資産		
投資有価証券	475,157	357,441
その他	106,749	107,471
貸倒引当金	△5,727	△5,695
投資その他の資産合計	576,178	459,217
固定資産合計	2,161,564	2,137,873
資産合計	2,951,061	2,908,555

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	151,184	146,207
短期借入金	37,048	122,820
コマーシャル・ペーパー	77,994	59,995
1年内償還予定の社債	79,998	―
未払法人税等	39,206	16,028
引当金	6,679	15,798
その他	326,024	269,830
流動負債合計	718,137	630,681
固定負債		
社債	285,579	287,249
長期借入金	483,005	412,268
退職給付引当金	64,045	63,813
その他の引当金	32,525	35,833
その他	213,866	200,559
固定負債合計	1,079,022	999,724
負債合計	1,797,159	1,630,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,415	81,416
利益剰余金	796,737	836,144
自己株式	△3,509	△5,103
株主資本合計	976,689	1,014,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,113	34,265
繰延ヘッジ損益	△9,298	△861
土地再評価差額金	△2,543	△2,543
為替換算調整勘定	△75,017	23,665
その他の包括利益累計額合計	△27,746	54,526
新株予約権	203	221
少数株主持分	204,754	208,898
純資産合計	1,153,901	1,278,149
負債純資産合計	2,951,061	2,908,555

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	497,286	520,663
売上原価	290,541	297,742
売上総利益	206,744	222,920
販売費及び一般管理費	181,431	198,765
営業利益	25,313	24,154
営業外収益		
受取利息	527	1,104
受取配当金	529	253
持分法による投資利益	－	1,937
為替差益	1,673	627
その他	1,886	2,395
営業外収益合計	4,617	6,317
営業外費用		
支払利息	5,219	5,600
持分法による投資損失	2,894	－
その他	2,605	1,383
営業外費用合計	10,719	6,983
経常利益	19,210	23,488
特別利益		
固定資産売却益	593	12,240
投資有価証券売却益	14	46,923
その他	51	47
特別利益合計	659	59,211
特別損失		
固定資産除却損	419	689
固定資産売却損	123	616
投資有価証券評価損	1	－
投資有価証券売却損	324	0
事業構造改善費用	950	1,783
その他	138	1,673
特別損失合計	1,957	4,762
税金等調整前四半期純利益	17,913	77,937
法人税等	15,600	17,824
少数株主損益調整前四半期純利益	2,312	60,113
少数株主利益	5,345	5,803
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△3,033	54,309

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,312	60,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,252	△23,789
繰延ヘッジ損益	△368	8,437
為替換算調整勘定	55,287	90,519
持分法適用会社に対する持分相当額	3,829	10,149
その他の包括利益合計	72,000	85,317
四半期包括利益	74,312	145,431
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,809	136,582
少数株主に係る四半期包括利益	8,503	8,848

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	綜合飲料			医薬・バイオケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	237,521	106,993	45,533	84,866	22,371	－	497,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,482	25	35	2,244	948	△6,736	－
計	241,004	107,019	45,568	87,111	23,319	△6,736	497,286
セグメント利益又は損失（△）	870	9,233	△2,590	18,709	82	△993	25,313

（注）１　「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額△993百万円には、セグメント間取引消去3,954百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,947百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	綜合飲料			医薬・バイオケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	234,603	127,637	52,136	84,718	21,567	－	520,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,985	21	64	1,951	894	△4,916	－
計	236,588	127,658	52,200	86,669	22,461	△4,916	520,663
セグメント利益又は損失（△）	△1,167	11,348	△726	15,128	867	△1,295	24,154

（注）１　「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,295百万円には、セグメント間取引消去743百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,038百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントの区分は、前連結会計年度において「国内酒類」「国内飲料」「海外酒類・飲料」「医薬・バイオケミカル」としておりましたが、当第１四半期連結会計期間より「日本綜合飲料」「オセアニア綜合飲料」「海外その他綜合飲料」「医薬・バイオケミカル」に変更しております。

これは、綜合飲料事業において、平成25年１月に国内の統括会社としてキリン㈱を設立し、グローバル本社である当社及び日本、オセアニア、ブラジル、東南アジアの各地域統括会社による連邦型経営を推進するための新体制が整備されたことに伴うものであります。

主な変更点として、従来の「国内酒類」「国内飲料」は「日本綜合飲料」に統合しております。また、従来の「海外酒類・飲料」のうち「オセアニア綜合飲料」を独立した報告セグメントとし、他の地域を「海外その他綜合飲料」としております。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第１四半期連結累計期間の「１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2013年第１四半期決算
補足説明資料

１．連結損益計算書サマリー・指標等
２．売上高明細
３．利益増減明細
４．連結貸借対照表サマリー
５．その他情報

キリンホールディングス株式会社
2013年４月26日

１．連結損益計算書サマリー・指標等

（１）損益計算書サマリー・指標等

（単位：億円）

	2013年 第１四半期 （実績）	2012年 第１四半期 （実績）	対前年増減	
売上高	5,206	4,972	233	4.7%
売上総利益	2,229	2,067	161	7.8%
販売費及び一般管理費	1,987	1,814	173	9.6%
営業利益	241	253	△11	△4.6%
営業外収益	63	46	17	36.8%
営業外費用	69	107	△37	△34.9%
経常利益	234	192	42	22.3%
特別利益	592	6	585	8,878.5%
特別損失	47	19	28	143.4%
税金等調整前四半期純利益	779	179	600	335.1%
法人税等	178	156	22	14.3%
少数株主利益	58	53	4	8.6%
四半期純利益又は四半期純損失（△）	543	△30	573	―
平準化ＥＢＩＴＤＡ	583	624	△41	△6.6%
平準化ＥＰＳ	20円	13円	7円	53.8%
売上高（酒税抜き）	4,601	4,335	266	6.1%
営業利益（のれん等償却前）	374	382	△7	△2.1%
営業利益率（対酒税抜き・のれん等償却前）	8.1%	8.8%		

平準化ＥＢＩＴＤＡ＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法適用関連会社からの受取配当金
平準化ＥＰＳ＝平準化四半期純利益／期中平均株式数
平準化四半期純利益＝四半期純利益＋のれん等償却額±税金等調整後特別損益

（２）主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

（単位：円）

	2013年 第１四半期 （実績）	2012年 第１四半期 （実績）
ライオン（豪ドル）	86.08	80.18
ブラジルキリン（ブラジルレアル）	46.47	45.42

	2013年第１四半期（実績）	2012年第１四半期（実績）
ライオン	2012年10月～2012年12月	2011年10月～2011年12月
サンミゲルビール		

２．売上高明細

（単位：億円）

	2013年 第１四半期 （実績）	2012年 第１四半期 （実績）	対前年増減	
売上高	5,206	4,972	233	4.7%
日本綜合飲料	2,346	2,375	△29	△1.2%
キリンビール ※	1,424	1,503	△79	△5.3%
キリンビバレッジ	699	662	36	5.5%
メルシャン	144	154	△9	△6.4%
その他・内部取引消去	77	54	23	42.8%
海外綜合飲料	1,797	1,525	272	17.9%
ライオン	1,276	1,070	206	19.3%
ブラジルキリン	440	382	57	15.1%
その他・内部取引消去	80	72	8	11.3%
医薬・バイオケミカル	847	848	△1	△0.2%
協和発酵キリン	866	871	△4	△0.5%
医薬	670	669	1	0.2%
バイオケミカル	195	201	△5	△2.9%
その他・内部取引消去	△19	△22	2	△13.1%
その他	215	223	△8	△3.6%

※　キリンビールとキリンビールマーケティングの合算値

＜参考＞酒税抜売上高

（単位：億円）

	2013年 第１四半期 （実績）	2012年 第１四半期 （実績）
キリンビール	845	896

３．利益増減明細

（１）営業利益

（単位：億円）

	2013年 第１四半期 （実績）	2012年 第１四半期 （実績）	対前年増減
営業利益	241	253	△11
日本綜合飲料	△11	8	△20
キリンビール ※	5	36	△31
キリンビバレッジ ※	△41	△32	△9
のれん償却額	△4	△4	△0
計	△46	△37	△9
メルシャン ※	0	1	△0
その他	29	8	20
海外綜合飲料	106	66	39
ライオン（連結組替後）	194	163	30
のれん償却額	△70	△61	△9
ブランド償却費	△9	△9	△0
計	113	92	21
ブラジルキリン（連結組替後）	13	△0	14
のれん償却額	△13	△25	11
ブランド償却費	△8	－	△8
計	△8	△26	17
その他	0	0	0
医薬・バイオケミカル	151	187	△35
協和発酵キリン（連結組替後）	151	187	△35
医薬	130	167	△36
バイオケミカル	14	13	1
その他・のれん償却額消去	21	22	△0
のれん償却額	△15	△15	－
その他	8	0	7
全社費用・セグメント間取引消去	△12	△9	△3

※ 持株会社へのマネジメントフィ控除後

主な営業利益増減内容

（単位：億円）

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール	酒類限界利益減	△24	ビール販売数量減 △3千kl △4億
			発泡酒販売数量減 △7千kl △7億
			新ジャンル販売数量減 △8千kl △9億
			ＲＴＤ販売数量増 1千kl 1億
			品種構成による差異 他
	原材料コストアップ	△2	砂糖・液糖価格高 △2億 他
	販売費増	△11	販売促進費・広告費増 △12億 他
			（ビール・発泡酒・新ジャンル △15億、ＲＴＤ 4億 他）
	その他費用減	6	減価償却費減 7億、修繕費減 3億
			マネジメントフィ等増 △9億 他
計		△31	
キリンビバレッジ	数量差異	20	販売数量増 199万ケース
	コストダウン	10	原材料コストダウン 11億
	容器構成差異等	3	
	販売費増	△34	販売促進費・広告費増 △32億、運搬費増 △1億
	その他費用増	△8	販売機器費増 △2億 他
計		△9	

主な営業費用

（単位：億円）

		2013年 第１四半期 （実績）	2012年 第１四半期 （実績）
販売促進費		400	353
広告費		280	243
キリンビール	販売促進費・広告費	202	190
キリンビバレッジ	販売促進費・広告費	265	232
研究開発費		130	134
協和発酵キリン（内部取引除く）		105	109

（２）経常利益、四半期純利益

（単位：億円）

	2013年 第１四半期 （実績）	2012年 第１四半期 （実績）	対前年増減	増減内容
営業外損益	△6	△61	54	
金融収支	△42	△41	△0	
持分法による投資損益	19	△28	48	
サンミゲルビール	31	10	20	現地持分損益 21億 他
フレイザー・アンド・ニーヴ	―	8	△8	現地持分損益 △12億 のれん償却額 3億
その他	△12	△48	36	キリンアムジェン 17億 他
為替差損益	6	16	△10	
その他	10	△7	17	
経常利益	234	192	42	
特別損益	544	△12	557	
特別利益	592	6	585	
固定資産売却益	122	5	116	
投資有価証券売却益	469	0	469	
その他	0	0	△0	
特別損失	△47	△19	△28	
固定資産除却損	△6	△4	△2	
固定資産売却損	△6	△1	△4	
投資有価証券評価損	―	△0	0	
投資有価証券売却損	△0	△3	3	
事業構造改善費用	△17	△9	△8	
その他	△16	△1	△15	
法人税等	△178	△156	△22	
少数株主利益	△58	△53	△4	
四半期純利益又は四半期純損失(△)	543	△30	573	

４．連結貸借対照表サマリー

（単位：億円）

	2013年 第１四半期末	2012年 期末	増減額	増減内容
流動資産	7,706	7,894	△188	
現金及び預金	727	839	△111	
受取手形及び売掛金	3,893	4,131	△237	
棚卸資産	2,251	2,065	186	
その他	835	859	△24	
固定資産	21,378	21,615	△236	
有形固定資産	7,941	7,634	307	・在外子会社の為替影響による増加　他
無形固定資産	8,844	8,219	625	
のれん	6,852	6,421	430	・在外子会社の為替影響による増加　他
その他	1,991	1,797	194	
投資その他の資産	4,592	5,761	△1,169	・投資有価証券の売却による減少　他
資産合計	29,085	29,510	△425	
流動負債	6,306	7,181	△874	
支払手形及び買掛金	1,462	1,511	△49	
有利子負債	1,828	1,950	△122	
その他	3,016	3,719	△702	・季節変動による未払酒税の減少 子会社株式取得に係る未払金の減少　　他
固定負債	9,997	10,790	△792	
有利子負債	6,995	7,685	△690	・長期借入金の長短振替による減少　他
その他	3,002	3,104	△102	
負債合計	16,304	17,971	△1,667	
株主資本	10,145	9,766	378	
その他の包括利益累計額	545	△277	822	・為替変動による為替換算調整勘定の増加　他
新株予約権	2	2	0	
少数株主持分	2,088	2,047	41	
純資産合計	12,781	11,539	1,242	
負債純資産合計	29,085	29,510	△425	

５．その他情報

（１）主要な上場連結会社損益　（連結組替後）

2013年第１四半期実績

＜連結子会社＞

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	866	143	148	104	54
のれん償却額消去		23	23	23	12
のれん償却額		△15	△15	△15	△15
連結取込計	866	151	156	111	51

＜持分法適用関連会社＞

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	443	141	125	105	51
現地持分損益			51	51	51
ブランド償却費			△4	△4	△4
のれん償却額			△14	△14	△14
連結取込計			31	31	31

（２）主要事業会社　売上明細

①　キリンビール

	2013年 第１四半期		2012年 第１四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	128	△2.5	132	0.5
発泡酒	109	△6.0	116	△2.4
新ジャンル	136	△5.7	144	7.5
計	374	△4.7	393	2.1
ＲＴＤ	44	2.5	43	9.2
ノンアルコール飲料	7	△19.8	9	△11.2
売上高	億円	%	億円	%
ビール	530	△2.3	542	0.5
発泡酒	333	△6.0	355	△2.4
新ジャンル	358	△5.3	378	7.2
計	1,222	△4.2	1,276	1.5
ＲＴＤ	123	3.1	119	9.3
焼酎・洋酒・その他　※	78	△27.0	108	△4.5
売上高計	1,424	△5.3	1,503	1.6

上記売上数量は輸出分を除く

※　グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ

＜カテゴリー別販売実績（連結）＞

清涼飲料			2013年 第１四半期				2012年 第１四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	381	10	△47	89	428	12	44	111
		烏龍茶	61	1	2	103	59	1	△2	97
		紅茶	1,061	27	87	109	974	26	△16	98
		計	1,503	38	42	103	1,461	39	26	102
	コーヒー飲料		686	18	△21	97	707	19	△12	98
	果実・野菜飲料		473	12	29	107	444	12	32	108
	炭酸飲料		274	7	132	193	142	4	28	125
	水		666	17	△63	91	729	20	125	121
	その他		305	8	80	136	225	6	8	104
国内市場清涼飲料計			3,907	100	199	105	3,708	100	207	106

＜容器別販売実績（連結）＞

清涼飲料			2013年 第１四半期				2012年 第１四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	796	20	△132	86	928	25	△26	97
PET容器	大型PET	２L	774	20	△45	95	819	22	222	137
		1.5L、１L、900ml、750ml	320	8	21	107	299	8	△19	94
		大型PET計	1,094	28	△24	98	1,118	30	203	122
	小型PET	500ml	1,069	28	194	122	875	24	10	101
		350ml以下	517	13	113	128	404	11	23	106
		小型PET計	1,586	41	307	124	1,279	35	33	103
		PET計	2,680	69	283	112	2,397	65	236	111
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壜、紙、ギフト 他		431	11	48	113	383	10	△3	99
国内市場清涼飲料計			3,907	100	199	105	3,708	100	207	106